

## 集会案内

日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church  
24521 Moulton Pkwy  
Aliso Viejo, CA 92637  
中庭の小さいチャペル

## 地図



ホームページ

[www.irvinenihongokyokai.org](http://www.irvinenihongokyokai.org)

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

## 「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

## 「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの折り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。

◎『石叫』◆

「津田塾大学」②

戦時中、文部省は再三再四、御真影（天皇の肖像写真）を安置するようにと通達してきた。「御真影を粗末にあつかえない。適当な場所がない」と答えると、学校を見に来た係官は、塾長室を安置所にするように命令した。そのとき、星野は「塾長室の上には教室がある。ご真影の上を生徒が歩き回るので不敬にあたるからそれはできない」と断った。業をにやした当局は、それでは校庭の片隅に奉安殿（御真影を納めていた建物）を建て、安置するようにと言ってきた。そのうちに敗戦となり、ついに御真影を安置することは実現しなかった。

また「看板事件」が起こっている。それは軍が塾内に移り住み、軍が設置した門標を、学生が深夜ひそかにとりはずし、傍らの川に流してしまった事件である。軍が移転直後、正門右側に掲げてあった学校の標札をとりはずし、軍の門標を正門の左右に掲げたのがこの発端だった。学校の標札をはずされたことに憤慨した四名の学生が秘密裡にことを進めたのだった。それに対して軍はどうしても犯人を調べ上げるようにと迫ってきた。星野は全学生を集めて悪いようには計らわれないから、申し出るようにと訴えたところ、三日目に出てきた。星野は再び軍に出かけ、もともと事の起こりは、軍の門標が正門両側に掲げられたことにあるのだから、それを片側だけにして、学校の標札は残して欲しいと申し出ると、一九四五年五月の頃であり、もう日本軍の敗色は明らかで、軍も気が弱くなっていたのである。軍は分かってくれた。四人はただ塾長に始末書を書くだけで、名前を軍に告げる必要もなかった。この程度のことと済んだのは、望外の幸いであった。（大庭みな子『津田梅子』朝日新聞社、一九九〇）

主イエスは自分を殺す者たちのために、十字架上で「父よ、彼らをおゆるしてください」（ルカ二三・34）と叫んでいる。自分は死んでも、無知な民を赦せと、天の父に執り成したのだった。この世で、自力でイエスを救い主と信じた人は、かつてこの世で誰ひとりいない。ということ、主の叫びの中の彼らの中に「あなたも」ということなのだ。主はたとえ死んでも、あなたに救われて欲しかったのだ。それはひとえに神があなたを愛するからである。丁度、星野あいの塾生を思う愛が、荒くれ者の陸軍に立ち向かう力となったように！

Rev. Tsukasa Sugimura